

3 議員が町政をチェック

片山議員	①赤松水道の老朽化改善計画は	p9
小部議員	①乙姫米栽培の推進は ②日和佐図書・資料館展示の改善を	p10
中川議員	①地域担当職員制度は進んだか ②町営住宅の水洗化を ③補聴器の負担軽減を	p11

掲載順は登壇順でない場合があります。

答弁
順次更新する

①赤松水道の老朽化改善計画は



かたやま まさとし
片山 正敏議員



録画配信中

質 問

赤松地区の老朽化した水道の更新、整備計画等、対応方針について伺いたい。

●答弁 住田水道課長

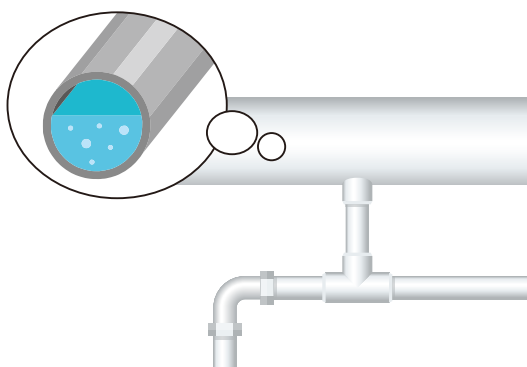
本年度、送配水管582メートルの更新を行い、次年度以降昭和47年に布設した、遠野・野田・上阿地屋の配水管2,500メートルについて、水源に近い部分より順次更新する計画である。

質 問

上下水道料金について、徴収コストの低減と徴収率の向上のため、一括で徴収してはどうか。

●答弁 住田水道課長

一括納付については検討する課題が多くあるので、今後、徴収率の向上と併せて研究を進める。



議会の様子がホームページで見ることができます。

美波町議会の議案審議、一般質問、議事録をインターネット上で簡単に視聴することができます。

- ①表紙または右のQRコードの読み取り、もしくは「美波町議会」と検索。
- ②「インターネット中継」→「録画配信はこちらから」をクリック。
- ③「令和5年」→9月定例会→日付選択→動画再生

*過去の動画も見られます。



※一般質問は質問者横のQRコードから動画再生ができます。※視聴には通信料がかかりますのでご注意ください。

一 般 質 問

① 乙姫米栽培の推進は

答弁
今後も取り組む



こ べ 部 ひろまさ 博正議員



▶ 録画配信中

れてはいるが、今後どう推
進していくのか。

● 答弁 岸本産業振興課長

令和5年度、207戸の
稲作生産農家のうち、乙姫
米生産農家数は28戸と減少
してはいるが、近年では稲
穂の高さが低く栽培しやす
い品種「あきさかり」の栽
培も増えてきている。

高齢化による生産者の減
少が進む現状だが、農薬や
肥料を低減した特別栽培米
「乙姫米」の促進、並びに
第一次産業の担い手確保、
所得の安定に向け、中山間
地域等直接支払交付金の活
用やJAかいふとも連携し
今後も取り組んでいく。



乙姫米

② 日和佐図書・資料館展示の改善を

答弁
展示スペースの改善を検討する

質 問

資料室（2階）の展示は、
1991年の開館以来、農
機具や民具などの民俗資料
やパネル展示が何年も展示
されたままになっているが、
日和佐浦地区などは古来よ
り漁村集落であり、藩政時
代には廻船業の拠点として
発展してきた経緯もある。

また「日和佐御陣屋」
が鞆浦から移転されて
以降は、政治的な中心
地でもあった。

近代においては、九
州出漁から始まった
「以西底引網漁業」の
発展により漁業の町と
して栄えてきた歴史も
あり、現状の資料展示
内容では日和佐地区の
歴史・文化を学ぶとい
う役割を果たせておら
ず、本来展示スペー

の一角も収集品の倉庫とし
て使用されているために縮
小されたままになっている。

● 答弁 寺内教育長
現在は、明治から昭和40
年頃の農業や庶民生活にま
つわる資料を収集・展示し
ていく。

展示内容を改善していく考
えはあるか。

ているため、商業、政治
漁業に関した展示内容には
なっていない。

今後、保管資料の移転先
を確保するなど、展示スペ
ースの拡大が図れたら資料
室全体的な展示を検討して
いく。

現状での対応としては、
資料室内の壁にパネル展示
を行ったり、常設展示では
ないが2階ギャラリーを活
用することを考えている。



日和佐図書・資料館



資料室

一般質問

①地域担当職員制度は進んだか

答弁 職員の配置は考えていない



なかがわ なおき 中川 尚毅 議員



録画配信中

質問

「高台に団地計画実現の道遠く」、「住民主導、財源難で中断」と徳島新聞に載った。地籍調査後の見通しはあるか。避難施設はどうするのか。仮設住宅の戸数や建設候補地を掴んでいるか。地域担当職員の検討はどうか。

答弁

前野消防防災課長 由岐の高台整備計画は、由岐湾内3地区の自主防災会連合会が、平成24年度か

答弁 改修予定はない

②町営住宅の水洗化を

質問

公営住宅法の第1条で、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備して、低所得者に低廉な家賃で貸し、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与すると目的を掲げている。町営住宅を水洗化するべきだ。

答弁

實木住民生活課長 町営住宅は186戸あり、トイレの水洗化ができているのは167戸。老朽住宅の入居者募集、改修の予定はない。

③補聴器の負担軽減を

質問

聞こえにくいと、認知症になりやすい、事故に遭いやすい、会話が難しいなど生活の質にかかわる。負担を軽くするために補聴器に対して補助制度はないか。難聴者の数はつかんでいるか。

答弁

大三福祉課長 聴覚障がいや身体障害者手帳を受けている人へ補装具費支給制度により補聴器を支給している。利用者は補聴器購入費用の1割を負担している。生活保護受給世帯や町民税非課税世帯の場合の負担はない。令和元

年度以降16台交付。また、手帳のない軽度・中等度難聴児の発達支援として、3人に交付。他の補助は考えていない。

